

# ハイライトよねやま ⑬

(財)ロータリー米山記念奨学会

2001年9月11日発行

## 1. 2001年度理事会/評議員会で新体制固まる

8月30日、2001年度第一回理事会・評議員会がホテルパシフィック東京で開かれました。新旧理事と評議員、あわせて117名が出席しました。今回の会議は、2000年度事業報告と決算が主な議案でした。

事業報告では、大学推薦制度の全国実施の経緯と、制度改編の一環として行った奨学事業の目的・使命の再確認の調査と議論についての報告がなされました。(参考・報告書「変わる“よねやま”～新制度」)また、韓国と台湾に組織されている海外学友会が主体となって行ったSY-A(母国学友会推薦制度)の現地募集・選考は新しい渡日前採用制度の実験的試みとして注目されました。第一陣として博士学位を取得した6名の奨学生が来日して受入大学での研究を終え、帰国してそれぞれの職場に復帰しました。

収支決算報告では、寄付金収入の現状が報告されました。普通寄付487百万円、特別寄付1,300百万円で、合計総額は1,787百万円となります。これを前年度決算と比較しますと、合計で2.96%の減となります。また、本年度予算比では、2.20%の減少となりました。ただ、寄付金の減少が依然として続く中、普通寄付金が予算に対して0.48%増であったのは、目標達成に努力した各クラブ、ロータリアンの努力の結果であることは間違いありません。ご協力、ありがとうございました。

同日開かれた第二回理事会で、「理事長・副理事長・常務理事の選任」があり、次の方々を選任されました。理事長・島津久厚(都城RC)、副理事長・高野孫左エ門(甲府)、加美山節(東京北)、常務理事・中原勇治(留辺蘂)、大島精次(高田)、坂部慶夫(京都洛中)、大丸昌讓(堺南)、宮崎幸雄(事務局長・東京)。そして、退任された末永直行氏は、名誉理事長に推挙され、就任されました。また、任期満了により退任された理事・監事に対して感謝状を贈呈し、ご芳名を議事録に記録して感謝の意を表することとしました。

米山奨学事業の推進力となる常務理事会、財務・学務・学友・広報の各委員会活動も活発に行われました。事業方針と計画の策定、および予算の立案、その執行など豊かなロータリアンの知識と経験が組織運営に駆使されました。これらポリシー・ボランティアとしてその役割と責任を担ったロータリアンの奉仕の業に感謝の意が表されました。

## 2. 新しい表彰制度がスタート<クラブ創立記念特別寄付表彰制度>

個人、法人、クラブの米山奨学金への寄付に対して新しい表彰制度が創られました。それは、クラブ創立を記念して一回10万円以上の特別寄付をしたクラブを表彰する制度です。2000年7月1日以降にクラブ創立を記念して特別寄付金を納入されたクラブから始められました。表彰は、寄付金が納入された翌年度に開かれる第一回理事会・評議員会の席上で行われ、感謝状が贈呈されます。今年度、該当するクラブは92クラブでした。なお、寄付金はクラブ扱いとして、特別寄付金に累計されます。

(常務理事/事務局長 宮崎幸雄)

### 3. 2002-2003年度ガバナー・エレクト研修会

理事会・評議員会終了後、2002-2003 年度ガバナー・エレクトの方々を対象に、米山奨学事業に対する認識を深めていただくことを目的に研修会が開かれました。島津久厚新理事長(都城 RC)はメッセージの中で、財政的に厳しい状況の中、今後も年間 1,000 名の奨学生を支援するために、全ロータリアンの更なる米山奨学事業への理解促進と寄付増進が不可欠であることが述べられました。また、来賓の板橋敏雄 R I 理事(足利東 RC)は、「日本の経済状況が混迷している中で、米山奨学会への寄付総額が財団への日本 35 地区の寄付総額に匹敵するのは驚くことである。これは米山奨学会への寄付が“目に見える”かたちで使われているからであり、今後も世界社会奉仕を前提とした米山奨学事業の更なる躍進を願う」と述べられました。後半のグループディスカッションでは、米山奨学事業に関する多数の意見交換が行われ、研修会終了後の感想の数々から研修会が有意義なものであったことの確認ができました。(西辻)

### 4. アジア学院、第 13 回毎日国際交流賞受賞

このたび、特別米山奨学生 (SY-1) が在籍するアジア学院 (2550 地区) が、「第 13 回毎日国際交流賞」を受賞しました。毎日国際交流賞は、市民レベルの国際交流・協力の支援と国際理解の促進を目的に、毎日新聞社が 1989 年に創設した賞です。受賞理由は 28 年間にわたり、アジア・アフリカなどの開発途上国から農村リーダーを受け入れ、指導者として育成してきたことが評価されました。受賞おめでとうございます。(大庭)

### 5. 第二回全国学友会代表者会議

7月28日(土)、ホテルパシフィック東京にて全国学友会代表者会議が開かれました。第二回となる今年は、日本にある 19 の学友会に加え韓国と台湾の学友会から、合計 20 名の代表者が参加。「学友会活動活性化のためのアクションプラン」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、国籍、世代の異なる学友たちが、独自の切り口から学友会の可能性と具体的なプランを提示しました。→「ロータリーの友」10月号に報告を掲載。

#### 10月は米山月間です

- ・米山奨学事業への理解と寄付増進のお勧めをお願いいたします。
- ・ロータリアンと米山奨学生の心の記録

“よねやま”との絆きずな (月間資料としてぜひご活用ください)

新制作ビデオ (22 分) 送料込み 1,000 円

お申し込みは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

☆ 次号は米山月間特集号です。お楽しみに！

(財) ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281